



明日香村住民による活動


(1) 地域住民と都市住民との交流による活動


あすかオーナー制度	
概 要	地域住民と都市住民の交流の中で、農業を通じて飛鳥の風土・景観を守る活動
活動・運営 主体	財団法人明日香村地域振興公社（あすか夢耕社）が窓口となり、集落ごとに貸し農園を運営。
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・労働条件が厳しく荒廃する棚田を守り、農業を通じて都市との交流を深めることを目的に平成 7 年に活動を開始。 ・地元農家の指導によるたんぼや畑の農作業体験を行う他、一斉草刈や休耕田への水生植物の植え付け、案山子立てなどを通し、村の活性化と景観保全につとめている。 ・現在、棚田オーナー（稲淵地区）、うまし酒オーナー・阪田なるほどふぁーむ（阪田地区）、森の手づくり塾（栢森地区）、一本木オーナー（地区）、いも掘りオーナー（地区）などがある。 


飛鳥川の景観保全ボランティア活動（栢森地区）	
概 要	明日香村民と近畿圏の都市住民によって行われている飛鳥川の景観保全ボランティア活動
活動・運営 主体	飛鳥川原風景を取り戻す仲間の会
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・明日香村栢森地区で活動を行っている自然活動サークル「あすか森の手づくり塾」から派生し、前栢森総代を中心に平成 11 年に活動を開始。 ・現在はサンワ緑基金が飛鳥川の景観保全活動に対して年間 250 万円の資金援助を提供。 ・活動内容は、飛鳥川沿いの景観保全のための間伐や草刈りが中心。年 6 回程度の活動を行う。参加者は 1 回に 80 名程度。 ・平成 13 年 1 月に、作業の報酬として参加者に手渡し、地元農家が用意した農産物と交換できる「エコマネー」を導入し、地域住民との交流を促進している。 ・これまで飛鳥川女淵周辺を中心に活動を行っていたが、現在は活動域を栢森地区内に広げている。 

(2) 地域住民を主体とする活動

地域活性化を図る活動

大化塾	
概要	「村民による村づくり」を考えるための勉強会
活動・運営 主体	大化塾
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来の活力に満ちた魅力ある村づくり」に向けた意見交換や議論・提言・行動を行える熱意と豊かな発想をもったリーダーの養成を目的として、平成5年より活動開始。 ・日々様々な分野で生活している塾生(村内住民)が集い、月1回定例会を開き、村づくりを中心とした地域づくりに向けた取り組みを行っている。 ・村の魅力を自分の目で確かめ、体感するための古い民家や村内諸施設の訪問、関係者へのヒアリング、村外実情視察等も行い、毎年年度末には報告書を作成、町に提言。 

にぎわいの街まちづくり(岡地区)	
概要	行政の協力・支援のもと、地元住民が主体となって取り組む街づくり活動
活動・運営 主体	にぎわいの街まちづくり委員会
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の景観や歴史、文化などに配慮し、ゆとりや潤い癒しのある、生活を重視した街なみ形成と、来訪者との饗し交流を目的として、平成14年、岡地区の住民有志により、「にぎわいの街まちづくり委員会準備会」が結成。さらに平成15年「にぎわいの街まちづくり委員会」へと移行。 ・地域住民が主体となり、まちづくり委員会での活動を通して活性化を図るとともに、行政が集落環境の維持改善やまちづくり委員会に対し、まちづくりアドバイザーの派遣等、側面より支援を行っている。 ・現在まちづくり勉強会による、イベントの開催、地域の歴史、伝統、文化等の再確認と観光材料の掘り起こし、伝統行事の復活に向けた取り組み、岡地区にあった集落景観統一のための指針づくりなどが行われている。 

神奈備の郷活性化委員会（稲淵・栢森・入谷地区）	
概 要	奥飛鳥三集落の協力による地域活性化のための活動
活動・運営 主体	<p>神奈備の郷活性化推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特産品等研究・開発部会(加工品・特産品等の研究・開発) ・ 食材等供給部会(食材供給のための苗木(動物も含む)等の選定・植栽等) ・ 体験学習部会(農業等の体験学習メニューなどの検討・調整) ・ 施設整備検討部会(活性化を図るための基盤整備に必要な施設の検討)
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化という共通の課題を抱える3地区が一致団結し、継続的に奥飛鳥の活性化諸事業の実現化に向けて話し合う場として、平成14年8月に稲淵・栢森・入谷の奥飛鳥3地区で神奈備の郷活性化推進委員会が結成。 ・ 現在、地域資源マップの作成、先進地研修、アドバイザーの招いての勉強会、神奈備の郷マスタープランの策定を行っている。 

飛鳥の歴史・文化を守る活動

飛鳥の伝承芸能の保存	
概要	古代から伝わる飛鳥の伝承芸能の保存・再現活動
活動・運営 主体	明日香村伝承芸能保存会
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・古代より受け継がれてきた飛鳥の伝承芸能の復元・継承を目的に、村内の伝承芸能を20数年前から発掘・調査し、平成12年に村内住民有志により保存会を結成。 ・現在80名程度の村民が参加し、南無天(なもで)踊り、八雲琴、飛鳥蹴鞠、万葉朗誦の四つの伝承芸能の保存活動を実施。 ・平成14年から行っている定例公演、村内の各種イベントでの公演の他、村内民宿の宿泊客を対象とした公演や、修学旅行生を対象とした体験学習の実施など、近隣のホテルでの出張公演などの活動を展開。



万葉劇団・時空	
概要	飛鳥の歴史をテーマとした演劇公演活動
活動・運営 主体	万葉劇団・時空 飛鳥京観光協会
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・明日香の魅力をもっと知っていただき、住んでいる地に誇りを持ってもらうことを目的に、飛鳥京観光協会が主体となり劇団の結成を呼びかけ、平成10年に活動を開始。 ・村民や近隣住民が主体。飛鳥京観光協会のボランティアとして、22~23人の明日香村民や近隣住民が劇団員として活動を行っている。 ・現在、年に一度の本公演、村内の各種イベントにおける公演のほか、観光シーズンには古代衣装を身にまとい観光客と写真を撮るなど明日香観光に貢献する活動を展開。



古代ガラス製作	
概 要	古代の技法により、ガラス玉を作る体験学習
活動・運営 主体	飛鳥京観光協会
活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)明日香村地域振興社と奈良教育大学とが協力してガラス炉・坩堝(ルツボ)・鋳型を復元。この遺跡の意味を一般に幅広く知ってもらうため、飛鳥京観光協会の事業として、復元した炉で古代の手法に忠実にそったガラス製作体験イベントを開催することとなる。 ・平成 14 年に観光協会がイベントに向けたインストラクター養成講座を開始、12 人が講座を修了。平成 15 年春より体験イベントを開始。 ・現在は毎月 1 回、飛鳥民俗資料館施設・眞神荘(まがみそう)にて開催。参加費 1 人 500 円、所要時間 1 時間半程度。 ・飛鳥を訪れた一般観光客のほか、カブスカウトや地域の学校からの参加もあり、古代ガラスの再現作成体験を通して飛鳥の歴史観光の振興に貢献している。

